

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	日光市こども発達支援センターつばさ園 ほけっと		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 9日		～ R7年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日		～ R7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用が少人数のため、一人ひとりに合わせた手厚い支援ができる。 ・児童発達支援を利用していたお子さんが利用しているので、職員がお子さんの性格や発達のニーズをよく理解して関わることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの希望に合わせたスケジュール設定をしている。 ・利用児の希望を聞いてから計画を立て、実施している。(図書館等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、一人ひとりのお子さんの発達や希望に合わせた活動を行い、お子さんが安心して楽しく通所できるように支援する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の送迎なので、体調確認や利用の様子を直接伝えることができる。 ・利用ははじめから、保護者との信頼関係ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の様子を、その日に報告している。 ・親子(家族)で出かける行事を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、丁寧な報告と、早めの連絡や確認を行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・次のステージに向けて、移行支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の希望に合わせて、相談支援専門員や他事業所と連絡を取り合い、見学日を設定している。 ・見学後は、利用児と相談支援専門員、支援員が振り返りを行い、利用児の意見を聴取しながら安心感をもって移行できるように支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんと保護者の希望に沿いながら、無理のないように移行ができるよう支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりが必要なお子さんには、移行支援を行っている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援と同じスペースを使用しているので、利用時間に制限がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専用スペースがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋と職員の確保。
3			